

熊本県立大学

熊本県立大学八代中心市街地活性化プロジェクト
中心市街地アーケードの活性化

2012年2月20日
熊本県立大学総合管理学部
准教授 澤田道夫

中高生アンケートについて

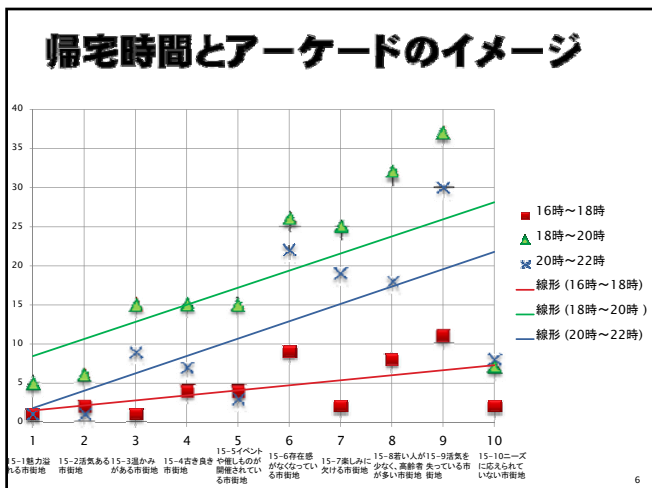
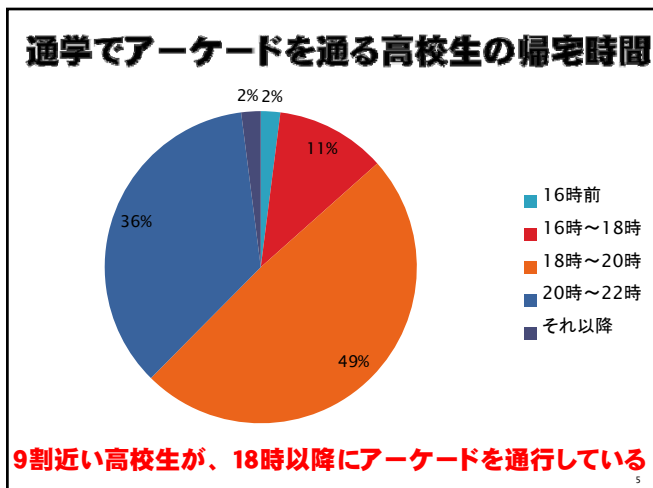
- アンケートの目的
 - 中学生・高校生の行動パターンの把握
 - 中心市街地アーケードに対して持つ意識の把握
- アンケート手法
 - 集合・クラス法によるアンケート
 - アーケード近隣の中学校・高校10校で実施

中高生アンケートの結果

- 高校生アンケート
 - 調査対象学生数 (N) 3744
 - 実回収サンプル (n) 541
(348通で、標本誤差5%、信頼度95%)
- 中学生アンケート
 - 調査対象学生数 (N) 2281
 - 実回収サンプル (n) 410
(329通で、標本誤差5%、信頼度95%)

アンケートで注目したい指標

- 問13：通学でアーケードを通るという回答
 - 高校生では、全体の3割近くが通学でアーケードを通ると回答
 - 1000人以上の高校生が、日常的にアーケードを通行している
 - 中学生でも、全体の1割が通学で利用
- ……なぜ「中高生の姿がアーケードから消えてしまった」ことになるのか？



アンケートの結果から

- 現在、1000人以上の高校生が日常的に八代アーケードを通行
- 9割の高校生が帰宅時間が遅い
- 帰宅時間が遅い生徒ほど、アーケードに対してマイナスのイメージを持つ

7

中心市街地の活性化とは

- まちづくり3法の改正（2006年）
 - 中心市街地活性化法・大店立地法・都市計画法
 - 自治体が中心市街地活性化基本計画を策定
 - 中心市街地活性化協議会の設置
- 様々な取組、色々な事例はあるが・・・

8

市街地活性化のための3つのヒント

1. コンパクトシティの概念
2. 市街地全体でのまちづくり
3. 創造都市という考え方

9

1. コンパクトシティの概念

- コンパクトシティとは
 - 都市機能の拡散、中心市街地の空洞化
 - 少子高齢化社会の到来
 - 歩いて暮らせるまちづくり

10

1. コンパクトシティの概念

- 八代では・・・？
 - 街なか居住の促進
 - マンション・高齢者住宅等の建設
 - 巡回バスの設定
- 街なか居住者を呼び込めるような中心市街地づくりが必要

11

2. 市街地全体でのまちづくり

- 市街地の開発のボトルネック
 - 土地の所有と使用の一体化
 - 「商店」イコール「住居」
 - シャッターは家の玄関
- 土地の所有と使用を分離する取組
 - 香川県高松市 丸亀商店街の事例

12

2. 市街地全体でのまちづくり

- 香川県高松市 丸亀商店街の事例
 - 100年後を見据えたまちづくり
 - 土地の所有と使用を分離する仕組みづくり
 - 高松丸亀町まちづくり株式会社の設立

13

2. 市街地全体でのまちづくり

- 八代では・・・？
 - シャッター商店の増加
 - 店舗入れ替えの困難
- 短期的には、空き店舗を柔軟に活用する方策が必要
- 長期的には、土地の所有と使用の分離についても検討が求められる

14

3. 創造都市という考え方

- 創造都市（クリエイティブ・シティ）とは
 - 大量生産都市の終焉
 - これからの都市には、クリエイティブな人材の集積が重要
 - イノベーション（革新）とインプロビゼーション（柔軟な対応）が生まれる
 - 新しい産業・新しい魅力が創造される

15

3. 創造都市という考え方

- 創造都市の二つの流れ
 - クリエイティブな中小都市
 - ボローニャ・フィレンツェ・クパティーノなど
 - 創造性が価値を生み出す
 - 文化と芸術による「創造的風土」の醸成
 - ユネスコ創造都市ネットワーク
 - 日本でも、金沢・神戸・名古屋などが認定

16

3. 創造都市という考え方

- なぜ創造都市なのか
 - 創造性を高めるまちづくり
 - 伝統文化・新しい芸術の育成
 - 工房・集会所・緩やかなネットワークの充実
 - クリエイティブな人材が集まる
 - 都市全体の創造性・柔軟性の向上
 - 新しいアイデア・新しい魅力

17

3. 創造都市という考え方

- 八代では・・・？
 - 中心市街地における創造的なまちづくり
 - 中心市街地でクリエイティブな人材を育成
 - 活性化のための新たなアイデアが生まれる
- 人々の創造性を高めていく中心市街地づくりが必要

18

4つの提言

- 開店時間の延長
- 若者が立ち寄れるスペースの設置
- アーケードの店自体の周知
- 中高生と連携してシャッターを明るいイメージに変えていく

19

クリエイティブ・アーケードの構築

- 閉じたシャッターをキャンバスに
- 空き店舗を美術部のギャラリーに
- アーケードを、コーラス部の練習ステージや
ブラスバンドの発表会に開放
- 街なかで自由研究の成果を発表
- 夏休み自習スペースの設置

20